

挨拶

日本医師会長
坪井 栄 孝

本日は、お忙しいなかを大変急な開催にもかかわらず、ご参集いただきありがとうございます。

ご出席の都道府県医師会の先生方におかれましては、日頃の地域における感染症対策へのご尽力に対し、感謝の意を表させていただきたいと存じます。

また、感染症危機管理対策室の専門委員、さらには公衆衛生委員会委員の先生方にもご出席をいただいておりますことに、心から御礼申し上げます。

前回の感染症危機管理対策協議会は、ウエストナイル熱、天然痘等をテーマに3月12日に行いましたが、まさにその日の夜にWHOが重症急性呼吸器症候群（SARS）に対する緊急情報を発表し、5月13日現在までに世界で7548名の患者、573名の死亡者が発生しております。この間に日本医師会から都道府県医師会等にあてました情報提供、通知も25を数えるに至っております。情報は日々アップデートされており、現在もWHOが知見を集めておりますが、まだ多くのことがわかっていないのが実情であります。

幸いなことに、日本においてはまだ1例の患者も出ておりませんが、現在も中国、香港等では猛威をふるっております。一方で、当初、入院患者を通し多くの医療関係者に感染したベトナム・ハノイでは、適切な処置を行った結果、封じ込めに成功しております。

こういった状況を踏まえ、岡部国立感染症研究所感染症情報センター長にご講演いただいたうえで、我が国におけるSARS対策に果たす医師会、医療機関等の役割につきまして、忌憚のない協議をしていただきたいと存じます。

本日ご出席の先生方におかれましては、本日の協議会の成果を踏まえ、各地域において、SARS対策が混乱なく円滑に実施されるようお願いいたします。

最後に、今後とも引き続き、感染症対策への先生方のご協力をお願いいたしまして挨拶とさせていただきます。

（糸氏英吉日医副会長代読）